

2018年4月25日

関係各位

マネックス証券株式会社

ザ・ファンド@マネックス「R&I ファンド大賞 2018」最優秀ファンド賞を受賞

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：松本大、以下「マネックス証券」）は、株式会社格付投資情報センターが選定する「R&I ファンド大賞 2018」におきまして、マネックス・日本成長株ファンド（愛称：ザ・ファンド@マネックス）（以下「当ファンド」）が投資信託部門・NISA 部門の2部門において「最優秀ファンド賞」、投資信託10年部門において「優秀ファンド賞」を受賞したことをお知らせいたします。

■ 受賞部門・カテゴリー一覧

部門	カテゴリー	賞
投資信託部門	国内株式	最優秀ファンド賞
NISA 部門	国内株式	最優秀ファンド賞
投資信託 10 年部門	国内株式	優秀ファンド賞

アセットマネジメント One 株式会社が委託会社として運用を行う当ファンドは、2000年に設定され、その後一貫してマネックス証券で販売・取扱いを継続してきた、初めてマネックスの名を冠した投資信託（ファンド）です。

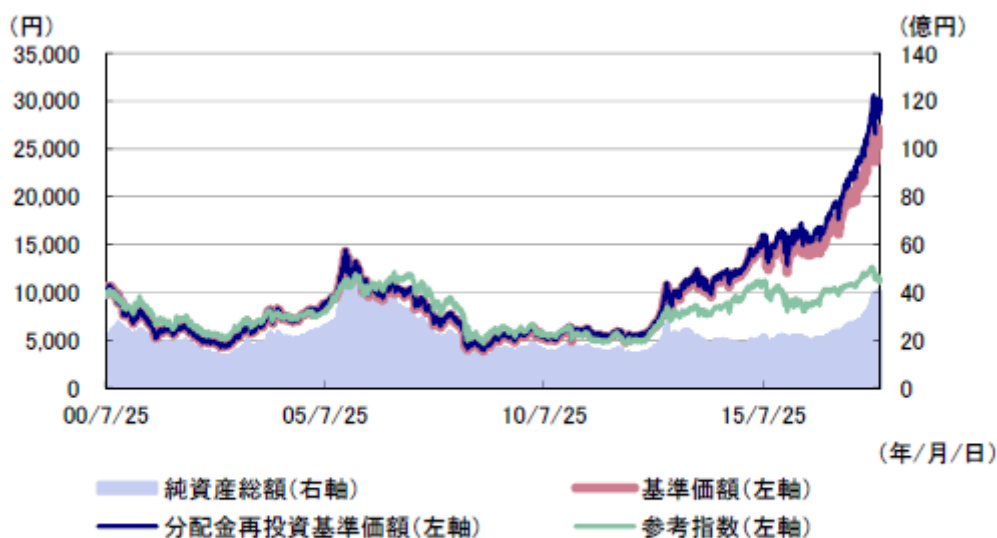
当ファンドが設定された2000年当時は、まだインターネットを通じた投資信託の販売が本格的に普及する前の段階でしたが、当ファンドは「一番長く続くファンドにしたい」という想いの下、アクティブファンドであるにもかかわらず申込手数料を段階的に無料化するなどの先進的な取組みと共におよそ18年間続いてきました。

今回、期間パフォーマンスやシャープ・レシオによって評価される最優秀ファンド賞・優秀ファンド賞を受賞したことは大変嬉しく思い、特に10年間のパフォーマンスを評価する「投資信託10年部門」において優秀ファンド賞を受賞したことは、大変光栄に感ずるとともに、今後も「一番長く続くファンドにしたい」というコンセプトの下、お客様本位の業務運営方針に基づいた販売活動を継続してまいります。

マネックス証券は、2017年6月22日に「お客様本位の業務運営に関する方針」を発表しましたが、従来より「お客様の最善の利益の追求」等を目的として業務運営を行っています。資産形成の領域では、投資積立の申込手数料を全額キャッシュバックするプログラム「ゼロ投信つみたて」や、運用実績・低コストにこだわった商品を揃えた個人型確定拠出年金 iDeCo（イデコ）を提供しており、今後もお客様の資産形成に資する商品・サービスの提供に努めてまいります。

■ ザ・ファンド@マネックスの概要

- ・ 名称：マネックス・日本成長株ファンド（愛称：ザ・ファンド@マネックス）
- ・ 運用会社：アセットマネジメント One 株式会社
- ・ ファンドの特長：
 - 主として、わが国の株式の中から、「インターネット関連企業の株式」を中心に投資を行います。
 - 「ファンドに組み入れるひとつひとつの銘柄の選択」を重視した運用を行います。
 - 純資産総額の 30%の範囲内で外貨建資産への投資を行うことがあります。
 - 外貨建資産への投資にあたっては、機動的な為替ヘッジにより、為替変動リスクの低減に努めます。
- ・ ファンドの基準価額と参考指数、純資産総額の推移（2000/7/25～2018/3/30）：



- ・ 基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。参考指数を含め、設定前営業日を10,000として指数化しています。
- ・ 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものと算出しています。

(出所) 2018年3月の月次レポートより引用、参考指数は東証株価指数 (TOPIX)

■ R&I ファンド大賞 2018 について

「R&I ファンド大賞」は、R&I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R&I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「投資信託部門」では 2016、2017、2018 年それぞれの 3 月末時点における 1 年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位 75%に入っているファンドに関して、2018 年 3 月末における 3 年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。「NISA 部門」では「NISA スクリーニング」の 2018 年版 (2 月 8 日に公表) の基準を満たしたファンドに関して、2018 年 3 月末における 3 年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。「投資信託 10 年部門」では、2013、2018 年それぞれの 3 月末における 5 年間の運用実績データを用いた定量評価および 2018 年 3 月末時点における 3 年間の運用実績データを用

いた定量評価がいずれも上位 75%に入っているファンドに関して、2018 年 3 月末における 10 年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託部門」、「NISA 部門」、「投資信託 10 年部門」では"シャープ・レシオ"を採用している。表彰対象は償還予定日まで 1 年以上の期間を有し、「投資信託部門」、「投資信託 10 年部門」では残高が 30 億円以上かつカテゴリー内で上位 50%以上、「NISA 部門」では残高が 30 億円以上の条件を満たすファンドとしている。なお、「投資信託部門」、「NISA 部門」、「投資信託 10 年部門」では上位 1 ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位 2 ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。

「投資信託部門」、「投資信託 10 年部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「NISA 部門」は NISA（少額投資非課税制度）向けに利用される国内籍公募追加型株式投信を対象にしており、いずれも基本的に R&I による分類をベースとしている。

（ご参考）株式会社格付投資情報センター（R&I）のニュースリリース

『R&I ファンド大賞 2018』選考結果を公表

https://www.r-i.co.jp/news_investment-fund-award/2018/04/news_investment-fund-award_20180423_jpn.pdf

以 上

【手数料等およびリスクについて】

マネックス証券の取扱商品等のお取引をいただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。

また、各商品等には価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引、取引所 CFD（くりっく株 365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じることがあります。各商品等のお取引にかかる手数料等およびリスクは商品毎に異なります。詳細につきましては、マネックス証券ウェブサイトに掲載の「契約締結前交付書面」「上場有価証券等書面」「目論見書」「目論見書補完書面」「リスク・手数料などの重要事項」等を必ずお読みください。

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会